

「はやぶさ2」帰還カプセル展示確認リスト

年 月 日

主催者

会場名

担当者

帰還カプセルを扱うにあたっては、世界で唯一のものであり、国民の貴重な財産であることを十分に認識の上、以下の対応を実施すること。

確認項目	確認欄	備考
	主催者	(状況・改善事項等)
共通条件		
1	主催者は、展示物の搬出入時に立会を行い、警備員を配置させること。また、搬出入導線上に段差、傾斜箇所がないか事前に確認を行い、振動対策を十分に行うこと。	
2	帰還カプセルは設置・搬出作業を含め、外部から見えないよう工夫・配慮すること。(展示場が「箱」の状態、場内が待ち列や出口から見えない状態であるか確認)	
3	設置場所の床面がじゅうたん等で振動・転倒の恐れがないか。また、設置場所の周りに落下、転倒の恐れがある物はないか十分に確認を行う。	
4	帰還カプセル展示ケースと来場者の間隔は1.5m以上とり、ロープ等で結界を設けること。	
5	帰還カプセルは、紫外線による劣化を防ぐため、直射日光を避けた状態で展示すること。(スポットライトも不可)	
6	<p>【温度/湿度管理】</p> <p>帰還カプセルは温度・湿度の変化を嫌うため、帰還カプセルを展示する場所は屋内とし、24時間の空調管理の下、設営時から展示期間中をとおして、下記の基準値を常に保つこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆温度【18℃以上～28℃以内】 ◆湿度【30%以上～70%以内】 <p>なお、湿度度チェックは、搭載電子機器・背面ヒートシールド等の各展示ケース内に設置された温室時計の値を基準とすること。基準値から外れた数値を示す場合は、速やかに展示室の空調設定の変更、乾燥剤交換・加湿対策を実施すること。</p>	
7	<p>【湿度管理の具体策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆湿度が70%を超える(超える恐れがある)場合 各展示台(展示ケース下部)の内部に設置しされた容器に入れる乾燥剤(シリカゲル)を、展示台1台につき各600g=5台3kg分を用意し、設置すること。 ◆湿度が30%を切る(切る恐れがある)場合 冬季の乾燥期など、加湿が必要となる場合には、濡れティッシュ1-2枚を入れた紙コップを上記の容器に入れて調整を行うこと。 <※>取扱要領・【別紙B】を参照 <※>必要な乾燥剤などは主催者側で準備すること。 	
8	<p>【湿度管理の定期チェック】</p> <p>展示物設置期間中(24時間)、定期的に温湿度管理チェックを行うこと。なお、チェックは、「日中は1時間ごと」を原則とし、管理表に数値・状態等をまとめて記載する。この管理表は、主催者からメールにて、1日ごとに報告すること。(宛先:ISAS-KOUHO@mljajax.jp)</p>	
9	<p>【展示物設置期間中の日々のメンテナンス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆アースの確認 ◆展示ケースの清掃 埃・塵・ケースについた汚れ(指紋等)の拭きとりが必要になった場合の手順・ 厳重注意事項の認識を確認。 ●”水拭き/家庭用中性洗剤の使用”において、それぞれの方法・手順のチェック ●厳重注意事項の認識確認 <※>取扱要領2(1)12項を熟読の上、手順・厳重注意事項を徹底する。 	
10	<p>【貸与展示物の撮影について】</p> <p>見学来場者による展示物の撮影は一切禁止とする。会場内に写真、ビデオ等の撮影禁止の注意喚起をするための案内を設置すること。</p>	
11	<p>【貸与展示物の撮影について】</p> <p>主催者の業務記録上必要な範囲での撮影、プレス公開および報道機関の撮影においては、来場者が見学をしている様子などに限り可能とする。【何れの場合においても、各展示物のズーム、フラッシュ撮影は厳禁とする。】 <※>別途配布する”貸与展示における撮影時の禁止・注意事項”を熟読の上、対応すること。</p>	
個別条件①【搭載電子機器部】		
1	<p>搭載電子機器部は帯電防止を要するため、展示台付属のアース付きプラグを接続するアース付きコンセントを設置場所近くに確保すること。(状況に応じて、延長コードを用意すること)なお、アースコンセントがない場合は一般電気機器同様のアースを取ること。(展示台付属のプラグコードは約2.5m) <※>取扱要領・別紙1を参照</p>	
2	<p>雷に関する予報や注意報が発令された場合は、誘導雷を避けるためアースを抜くこと。</p>	

【別紙F】

警備条件			
1	原則として、展示会場に精通した警備業者を利用すること。(日頃から会場の警備を行っている業者が望ましい)		
2	24時間の警備体制とすること(夜間はカメラ監視やセキュリティシステムの対応も可)		
3	展示期間中(プレス公開等含む)は、展示物に来場者がアクセスしないよう、また、展示物の盗難や破壊に遭わぬよう、展示ケース付近に2名以上の監視員を配置し当てること。		
4	会場閉館後及び夜間は、施錠等により外部から展示物に対するアクセスを排除し、その状態を常に監視し、何かあった場合には即座に対応できるよう、1名以上の巡回警備体制を取って警備に当たること。		
総合確認			
1	<p>【 緊急事態発生時の連絡体制・初動体制の確認 】</p> <p>◆JAXA／主催者それぞれについて、24時間、確実に連絡が取れる電話番号他(携帯電話、メールアドレス)を緊急連絡先として登録し、期間中はお互いに所持すること。 →備考欄に記載</p> <p>◆問題発生時の速やかな報告 搬入設置～搬出までの期間中、展示物(帰還カプセル及びその展示ケース等)に目に見える異常・変化が生じたことが確認できた時点で、必ずJAXA事務局に一報を入れること。→備考欄に記載 また、合わせてその事象が生じた理由等を速やかに確認し、順次報告を行うこと。 JAXAは報告内容を整理し、主催者へ具体的な対応策等を指示すること。</p> <p>◆震災・災害等の発生時 1)見学来場者(お客様)・関係スタッフの身の安全を第一とし、避難等の初動対応を実施すること。 2)上記が整理できた時点で、JAXA事務局へ状況報告を入れること。 3)JAXAは報告内容を整理し、必要に応じて主催者へ具体的な対応策等を指示すること。</p> <p>※JAXA事務局も、ニュース等により各展示会場周辺で何かが発生した等の情報を得た場合、現場の状況を想定・勘案の上、適宜、主催者へ確認の連絡を入れること。</p>		<p>【緊急連絡先】</p> <p><JAXA事務局> 氏名：JAXA宇宙研広報／利岡 加奈子 TEL：070-1170-2731 E-mail：toshioka.kanako@jaxa.jp</p> <p><主催者側> ①氏名： TEL： E-mail： ②氏名： TEL： E-mail：</p>
2	上記各条件及び募集要項、取扱要領に示した諸条件を双方にて確認。貸与には“同意書提出”が必須である。		
3	本展示開催時の新型コロナウイルス感染症対策については、マスクの着用、検温、手指消毒、入場者の制限等、主催者が責任をもって実施する<博物館ガイドラインおよび各自治体の感染症防止対策を遵守のこと>。		
4	前後の展示会場になんらかの事情があり展示ができなくなったり展示期間の短縮があった場合、当初の貸与予定より前後約1週間、展示物を預かることができる。その場合のセキュリティ面では警備条件4を満たすこと。		
5	展示イベント終了後には、実施報告書を提出すること。提出時期は終了後2週間後を目安とする。報告項目例については、別途提示。		